

おだひろし 大和市議会議員
元産経新聞記者

小田博士の 市政かわら版



一般質問

増加する外国人への対応は？

やさしい日本語の活用進める

大和市でも外国人が増えています。過去5年間で2割伸びており、8月末時点では7000人弱。本市の人口の3%を占めます。

外国人が増えれば人口減少に歯止めがかかり、労働生産人口が増える一方、環境や治安への影響も懸念されます。生活面ではゴミ出しへの理解を深めてもらうことも課題です。

外国人は災害時の要援護者ですが、平成23年の東日本大震災では、「高台に避難しろ」という言葉の意味が分からなかった外国人も多かつ



多文化共生社会の実現を!!

たそうです。このため9月議会では、外国人増加への対策を質問し、多文化共生社会の実現に向けて、やさしい日本語の活用を求めました。

市側は「外国人市民すべての母国語による対応は困難であり、日本語の理解も重要だ。やさしい日本語を行政文書での活用を進めたい」と答弁しました。

答弁の要旨

【防災】(市長、市長室長、教育部長答弁)

Q. 本市の災害対策は？

A. スタンドパイプを配備し、ファットバイク隊やドローン隊を導入するなど「公助」として災害対応力の強化をはかった。「共助」の中心となる自主防災組織を積極的に支援し、「自助」の意識を高めるため、グラリ3分一斉行動訓練を開催している。今後も自助、共助、公助が一体となった災害対応力の強化に努めたい。

Q. 自主防災組織がまとめる地区防災計画の策定状況は？

A. 本市は市域が狭く地域の状況に大きな違いがない。防災マニュアルの作成を推進している。

Q. 避難生活施設たる小中学校の安全性は？

A. 耐震補強工事や建て替え工事をすべて完了している。安全に利用できると捉えている。

【外国人の増加】(文化スポーツ部長答弁)

Q. 現状は？

A. 国籍別では中国が一番多く、次いでベトナム、フィリピンの順となっている。かつてインドシナ難民を対象とした定住センターがあり、外国人が住みやすい環境があるため増加している。

Q. やさしい日本語の活用は？

A. 外国人市民すべての母国語による対応は困難だ。わかりやすくやさしい日本語を用いることは有益だ。行政文書での活用を進めたい。

【図書館城下町】(市長、文化スポーツ部長答弁)

Q. 「図書館城下町」とは何か？

A. 市民の読書環境が市域全体にわたり、さらに発展していくことを目指し、旗印を掲げている。

Q. 商標登録した狙いは？

A. 本市の代名詞ともなる呼称が本市で使用できない事態になったり悪用されたりすることを防ぐため、知的財産権保護の必要性があると判断した。

Q. 読書通帳を導入できないか？

A. 単に記帳が目的化し、記帳数を増やすことだけに走りがちになる課題も報告されている。費用対効果などを十分に見極める必要がある。

【駐車場】(こども部長答弁)

Q. 市民活動拠点「ベテルギウス」をはじめ公共施設の利用者にかかわる駐車場への考えは？

A. それぞれの施設の用途や目的、立地条件等を踏まえて整備している。ベテルギウスは大和駅から比較的近く、施設のすぐ前にバス停もあり、公共交通機関を利用しやすいので、公共駐車場を整備していない。

地区防災計画策定の支援を

近年、大災害が相次いでいます。地球温暖化に伴う気候変動で、極端な高温や熱波、大雨の頻度は今後も増えていく可能性が高いと指摘されます。**都心南部直下地震、東海地震や神奈川県西部地震が発生した場合、大和市でも大きな被害が予測されています。**そこで今回の一般質問では、防災を中心に据えて質問しました。

防災では過去の災害の教訓に学び二度と同じ被害にあわないようにすることが大切です。本市では平成30年6月の大阪北部地震を受けてブロック塀の耐震診断費用を助成するなど、迅速な対応をとっていることは評価できます。

一方、未曾有の災害に備えることも必要です。東日本大震災で言われたような「想定外」をなくし、死角を最大限減らすことが大切です。

政府は自主防災組織に対し、地域ごとの「地区防災計画」をまとめるよう求めています。大和市は「本市は市域が狭く地域ごとの状況に大きな違いがない」としており、**現在、市内に地区防災計画はありません。**ただ、本市でも浸水被害の恐れがある川沿いのエリア、火災時に延焼の懸念がある木造住宅密集地域では、災害時の避難行動や対策が異なると考えられます。こ



台風15号の強風で本市にも被害が… (筆者撮影)

■近年の主な自然災害

時期	内容
平成27年9月	関東・東北豪雨 茨城県常総市が水没
28年4月	熊本地震 2回連続して震度7。災害関連死も多数
12月	糸魚川市大規模火災 木造住宅密集地域で約4万㎡が焼ける
29年7月	九州北部豪雨 過去最大級の流木被害
30年6月	大阪北部地震 多数の帰宅困難者。ブロック塀が倒壊
7月	西日本豪雨 平成最悪の水害。土砂崩れが相次ぐ
9月	北海道胆振東部地震 道内ほぼ全域が停電(ブラックアウト)
令和元年9月	台風15号 千葉県内で大規模停電

のため、特別な事情を抱える地域においては地区防災計画の策定を支援するよう要望しました。

9月に関東地方を襲った台風15号では、千葉県で停電復旧に多大な時間を要しました。大和市内でも、のべ9000軒近くが停電するなど被害が出ました。

停電を防ぐには、電線を地下に埋める「無電柱化」が効果的です。ただ、1キロメートルあたり5億円超の費用がかかる上に、工期も長期にわたります。容易でないことは理解しますが、一歩ずつ前進させるよう要望しました。

また、ブルーシートの万全な備蓄、強風によってズレてしまった路上のカーブミラーの復旧作業や総点検なども要請しました。

◆プロフィール

昭和50年1月5日生まれ
大和市出身/福田在住

- 昭和56年 高座みどり幼稚園卒園
- 62年 西鶴間小学校卒業
- 平成2年 南林間中学校卒業
- 5年 中央大学附属高校卒業
- 10年 上智大学経済学部卒業
- 26年 産経新聞社を退社
- 27年 大和市議に初当選
- 31年 大和市議に再選

◆市議としての役職(令和元年5月~)

総務常任委員会委員、議会運営委員会委員
市営住宅運営審議会委員(会長)

◆その他の主な活動

- 自民党大和市連合支部 政調副会長・広報局長
- 自民党神奈川県連 市町村議員協議会幹事
- 大和中央シティライオンズクラブ
- 関東若手市議会議員の会(神奈川県代表)、隊友会
- 金毘羅神社神輿会
- ◆産経新聞記者(16年間)当時の職歴
東京本社・整理部→千葉総局→社会部→政治部

【12月議会】

大和市議会令和元年
第4回定例会は、11月26日から12月20日まで25日間の日程で開催される予定です。一般質問は12月13、16、17日の3日間です。気軽に傍聴してください。

